

自己点検・評価シート

整理No.	1-(2)-②	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備事業	所属名 教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ
	施策	1202	文化財の保存・活用

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平
意図 (どのような状態にするために)	1 文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。 2 市民の史跡への理解を深め、利活用の推進と全国への情報発信を図る。
手段 (どうするのか)	1 「保存整備基本計画」に基づき、史跡鳥取城跡の建造物の復元や石垣の修理、環境整備などを行う。 2 「鳥取城フォーラム」や見学会、展覧会等を実施し、情報発信と利活用の推進に努める。 史跡全体の調査研究、利活用を推進する。復元整備のために必要な調査研究、基本設計業務を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	1 大手登城路擬宝珠橋跡発掘調査・楯蔵跡の環境整備工事 2 鳥取城フォーラムの開催・見学会の実施・見学路の実験的整備・調査研究事業の実施	1 石垣修復工事・整備に係る発掘調査 2 中ノ御門跡復元整備基本設計・鳥取城フォーラム・見学会の実施・見学路の整備・調査研究事業の実施	1 石垣カルテに基づく必要な箇所の修理工事・整備に係る発掘調査・大手登城路復元整備に係る基本設計 2 中ノ御門跡復元整備基本設計・鳥取城フォーラム・見学会の実施・見学路の整備・調査研究事業の実施	1 石垣カルテに基づく必要な箇所の修理工事・整備に係る発掘調査・大手登城路復元整備に係る実施設計 2 鳥取城フォーラム、見学会の実施・見学路の整備・調査研究事業の実施		
	年度別実績	1 大手登城路擬宝珠橋跡発掘調査・楯蔵跡の環境整備工事 2 鳥取城フォーラムの開催・見学会の実施・見学路の実験的整備・調査研究事業の実施	1 大手登城路擬宝珠橋跡発掘調査・楯蔵跡の環境整備工事 2 鳥取城フォーラムの開催・見学会の実施・見学路の実験的整備・調査研究事業の実施	1 大手登城路復元に係る発掘調査・記録作成、天球丸腰石垣修復工事・発掘調査・記録作成、次年度以降工事に係る発掘調査、記録作成 2 中ノ御門跡復元整備基本設計、鳥取城フォーラム・見学会の開催、調査研究事業の実施			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	111,238	72,510	95,236	123,305		
	直接経費 A	94,738	53,945	71,923	123,305		
	直接経費の財源内訳	国・県	62,311	35,136	47,571	89,829	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
一般財源	32,427	18,909	24,352	44,140			
人件費 B	16,500	18,565	23,318				
職員数の内訳	正規職員	2.20	2.50	3.20			
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00			
	臨時職員	0.00	0.00	0.00			

4. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>1 事業の概要</p> <p>(1) 鳥取城跡附太閤ヶ平は、昭和32年に国指定文化財になって以後、年次計画で保存修理を実施してきた。保存修理事業は、昭和18年の鳥取大震災等による城郭遺構の損傷部を中心に実施している。また、「史跡鳥取城跡保存整備実施計画」(平成18年度策定)に基づき、平成30年度を目標に大手登城路復元整備に取り組んでおり、復元の資料を得るための発掘調査を、20年度より補助事業として実施している。</p> <p>(2) 平成17年度に「史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備基本計画」、18年度に「鳥取城跡保存整備実施計画」を策定し、長期計画に基づく史跡鳥取城跡の保存整備の促進と史跡の活用を図っている。鳥取城跡の史跡としての保存と活用を推進し、地域の核となる文化財としての価値を高め、地域文化の振興や周辺地域の活性化、文化財愛護意識の醸成を図ることを目的とする。</p> <p>2 事業の成果</p> <p>(1) ○大手登城路復元に係る発掘調査、記録作成 ○天球丸腰石垣修復工事、発掘調査、記録作成 (2) ○検討委員会の開催 ○鳥取城フォーラムの開催 ○発掘調査・石垣修理工事の現地説明会の開催 ○32万石お城まつりでの展示開催 ○史跡の現地説明会の開催</p>
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	楯蔵跡(天球丸巻石垣前広場)環境整備事業の進捗率	%	目標	80	100	-	-	-
				実績	80	100	-	-	-
	(指標の説明) 楯蔵跡環境整備事業の進捗率(平成24年度終了)								
	2	鳥取城フォーラム等イベント実施数	回	目標	3	3	2	2	-
実績				5	3	5	-	-	
(指標の説明) 活用事業の実施数									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	楯蔵跡(天球丸巻石垣前広場)環境整備事業の進捗率	%	100%	100%	-	-	-
	2	鳥取城フォーラム等イベント実施数	回	167%	100%	250%	-	-

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	1 国史跡であり、管理団体として保存活用に努める必要がある。また、都市核として「市民の心のよりどころ」である。 2 管理団体として積極的に活用に当たる必要があり、市民の期待も強い。
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	1 鳥取城跡の保存活用の推進は、中心市街地の活性化に資するとともに、史跡内にある久松公園、重要文化財仁風閣等の活用にもつながる。 2 鳥取城フォーラム、現地説明会は常に一定以上の参加者を得ているが、より広範な市民、国民に情報発信するため、観光事業者や県等の関係機関との協調を一層図る必要がある。
資源投入の効率性	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	1 指定文化財として慎重な取り扱いが必要であり、さらに既存の県有施設との調整等が不可欠である。 2 観光協会等との協力関係により、効率的に事業実施ができていますが、さらなる広範な協力が必要である。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	1 無料で利用でき、文化財に関心のある市民だけでなく、市街地に残る豊かな自然環境、また都市公園として広く利用することができる。 2 城郭遺跡として各種書籍に掲載頻度も著しく向上し、観光客も増加する方向にあるが、今後さらなる事業の進捗が求められる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	1 関係機関との調整を進め、保存整備基本計画に沿った事業を着実に進める。平成30年度を目標に大手登城路の復元整備を進める。 2 復元整備事業の進捗にあわせ、内容・手法等を見直しつつ継続的に活用に取り組んでいく。	
今後の課題・方向性	1 鳥取城跡の復元整備・環境整備は市民からの要望も強く、今後も文化財としての保存活用を図る。また、劣化し、崩落の恐れのある石垣等も複数箇所確認されており、今後も確実に石垣等の保存修理事業を進める。 2 鳥取城跡の修理・整備工事の進捗にあわせ、内容・手法等を見直しつつ継続的に取り組んでいく。平成30年度を目途に、保存整備基本計画の見直しを行い、事業を精査する。	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	城下町として発展してきた鳥取市において、鳥取城は「市民の心のよりどころ」で大切であるという点は十分に理解できる。県外に出てしまった鳥取市出身者にとっての故郷の原風景の一つであろう。そういった意味からも、鳥取城跡をきちんと整備、保存し将来の市民に残す本事業は、現在の鳥取市や鳥取市民にとって義務と言っても良い事業である。きちんと計画通りに事業を進めるとともに、復元等が完成したあかつきには観光資源としての活用、特に県外への情報発信の工夫をお願いしたい。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	長期的な計画の下、着実に整備が進展している。事業に対する市民の理解を深める広報や啓発のイベントも積極的に実施されている。事業の評価としては別途、第一期の整備計画の全体としての評価が必要である。
--------	--